



新年を迎えた与楽寺(広瀬田中)
 気持ちが和らぎます

謹賀新年

奈良県内で初めての…… 小規模工事等受注者 登録制度が実現!

不況が進行する中で零細な事業所においては「仕事がない」と困っている方がたくさんおられます。9月議会一般質問で八尾議員が「小規模工事等受注者登録制度(修繕・改善等)」の実施を求めたところ、早速平成21年2月から登録が開始されることとなりました。奈良県内で初の制度です。また、長年にわたり中小零細業者の皆様の運動と結び、運動を続けてきた大きな成果です。この制度は、競争入札参加資格のない地元の業者で、小規模で簡易な工事(20万円未満)などの受注・施工を希望する者を登録し、自治体が発注する小規模な建設工事や修繕の受注機会を拡大し、地域経済の活性化を図ることを目的とした制度です。全国で330自治体で実現しています。県内では実施しているところがなく広陵町が初の実施になりました。今後は税金の滞納があっても分割納税に応じられている場合には登録できるように運動していきます。中小零細業者の皆様、ふるって登録しましょう!

図書館前駐車場は一部無料化に

53億円もの巨費を投じ整備された竹取公園は平成19年4月から一回500円の駐車料金(第2駐車場では土日祝)が徴収されてきました。路上駐車が増えて近隣の皆様にご迷惑をかけていることを理由に今年平成21年3月から図書館前の第2駐車場が「町民の図書館利用に限って」無料となります。有料化によって町の賑わいが損なわれただけでなく、平成19年度決算では差引300万円弱の収

益にしかならず、また、図書館利用者から強い抗議の声が上がりました。2700筆余りの無料化を求める要望署名を町も無視できなくなりました。日本共産党議員団は「限定的な無料化だが着実な前進。竹取公園駐車場すべてについて、町民とすべての障害者利用は無料に。」との意見を付して賛成しました。引き続き全面無料化に向けて取り組みを強化していきます。

広陵町議会は「消費税増税反対の意見書」を否決

この意見書は麻生総理が定額給付金の支給を明らかにした席で、3年後の消費税率アップを明言したことを踏まえた意見書です。景気がこれだけ悪いのに一回限りの定額給付金には多く皆様から疑問・反対の声が出ており、抱き合わせてこれ以上の消費税率アップ(いったん上げるとずっと続く)なんて堪えられません。イギリスではもともとと食料品等の生活必需品は無税である上、今般景気浮揚策として17.5%の消費税が15%に減税されておられ、わが国の対応の異常さが際立っています。国民のふところを暖めてこそ景気回復ではないでしょうか。

八代議員は正面からの消費税擁護論を展開されました。同氏はこれまで後期高齢者医療制度

の廃止の意見書にも反対されています。

八代基次議員の反対討論(大要紹介)
 先ずタイトルに反対する。消費税は徴税経費もかからないし取りはぐれることがない税金だ。均一の税率で公平である。どの商品を購入するかは本人が選択できる。共産党は大企業に負担を求めるが今日の日本に大資本家というものは存在しないし、大企業に負担を求めると海外に企業が逃げて行ってしまう心配がある。ただ、消費税には逆進性があることは事実で食料品の非課税など検討する余地があるように思う。

賛成(八尾・山田美津代・坂口・吉田)4名、反対(笹井・竹村・乾・長濱・八代・吉岡・松浦・山田光春・山村)9名で否決。

役場西隣の土地取得 調査特別委員会設置を決議

9月議会で日本共産党議員団は特別委員会設置の決議を提案(賛成少数で否決)していましたが、このたび12月議会において役場西隣の土地取得に関する調査特別委員会の設置が決議されました。採決は(以下、敬称略)、賛成(八尾・山田美津代・坂口・吉田・山田光春・山村)6名、反対(笹井・乾・長濱・八代・吉岡・松浦)6名で同数となり、地方自治法の規定で議長決裁により可決されました(竹村議員は棄権)。

この委員会は今年3月末までに、一昨年町が一億三千万円余りで購入した役場西隣の土地について精査し問題の整理検討を通じ問題がなかったかどうか調査します。

その他日本共産党が提案された意見書等

- ① 貧困の連鎖を断ち切り、町民生活を底上げすることを求める意見書
- ② 奈良社会保険病院の公的機関としての存続を求める意見書
- ③ 子どもの医療費窓口払いをなくすための意見書
- ④ 飲酒運転撲滅に関する決議(原案提起)

雇用の拡大を

一般質問・山田美津代議員

一、便利で安心できる町営住宅を！

貧困と格差で高齢者やシングルマザーなどの低所得者の生活は困窮している。町として憲法二十五条を守るのが自治体としての責任であり最低生活できる環境を保障すべきではないか。今、建っているところは五十五年も前のものもあり老朽化が著しい。

(答弁 理事者) 古寺以外は、耐用年数も経過しており耐震性はない。現状を、確認してみたい。古寺の駐車場や集会所は住民と協議しながら進めていきたい。

二、クリーンセンターのコスト超過分は確約書通り(株)栗本鐵工所に負担させよ

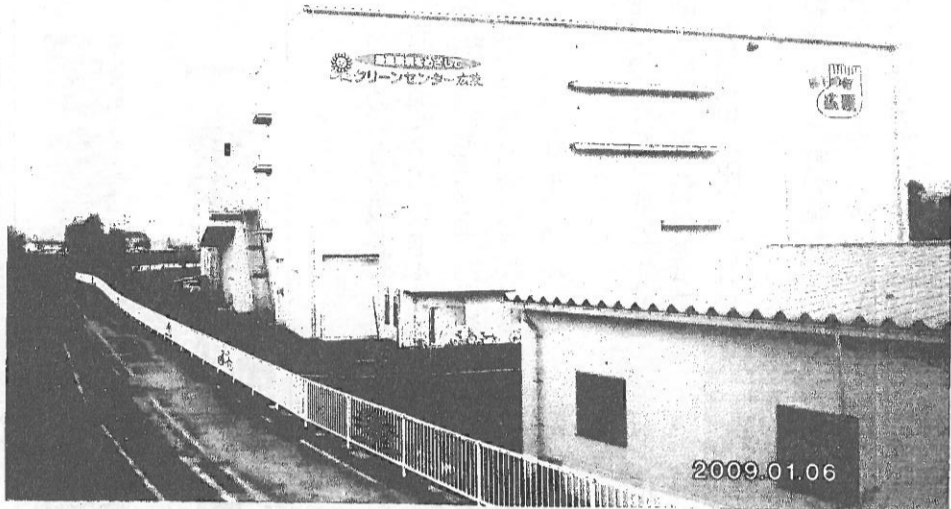
(株)栗本鐵工所と町とで結んだ確約書では、超過分は(株)栗本が負担することになっている。燃料費は、平成十九年度五千八百九十万円であったが同決算では、一億二千二百九十九万円で、四千三百万円の大幅超過となった。(株)栗本からの回収は？又四年後からの金額を大きくとっているがその見通しを明らかにしてほしい。

(答弁 理事者) 栗本の責任に帰さない支出があるのでその金額には至らない。別途示したい。燃料費の予算額は、灯油の価格が一リットル四十円で、平成十九年はリットル六十九円と確約時の一、七三倍になっている。四年目から町が機械等の消耗品補修費を見込まなければならぬ。

三、子ども医療費を窓口払いなしに！

小さい子どもさん三人が病気になり月六万円も医療費かかりローンもあり生活が大変だったという若い世帯からの相談が寄せられ後で助成されるのは助かるが、一旦窓口で支払わなければならないのが、きつい！後で還ってくるのなら窓口での支払なし(五百円の一部負担金除く)にしては？三十一の自治体で実現している。

年間燃料費が1億円を突破した新クリーンセンター



(答弁 町長) 仕組みを改めるには、県の制度改正が必要となる。窓口負担金の支払が困難な方には、独自に「福祉医療費資金貸付要綱」を定め、窓口負担金を支払うための資金を無利子でお貸しする制度を設けている。

子ども医療費は窓口負担ゼロに(意見書可決！)

四 学校図書館スタッフの雇用の継続を！

(答弁 教育長) 学校図書館支援センター推進事業はモデル事業であり効果があることですが、この事業で得られた内容を子どもや学校に渡していく。スタッフの雇用の継続をする気はない。

学校図書館司書は継続雇用を！

五、ヤオヒコ前や今度できるイズミヤなどの、交通安全の確保を！

ヤオヒコ前の信号は、歩車分離はよいが、すぐ変わってしまうため、一度の信号では歩行者や車もイライラして無理に渡るため事故が心配。充分渡れるだけの時間にしてほしい。

(答弁 町長) ヤオヒコ前は歩車分離になっており交通量に応じ、時間帯により変わる信号の周期を調整しているもので、自治会や交通対策の関係者と協議して決めたもの。変更は難しい。イズミヤ周辺の交通渋滞の件は、奈良県警や香芝署交通課と協議中である。

六、SSサイズのゴミ袋について

一人暮らしの高齢者やゴミ問題に関心のある方が増えてきてゴミを出す回数が減ってきている。そのため燃やすゴミ用SSサイズが作られたのに置いてある処が少ない。条例で決められていることなので全てこのサイズにしてください。又その他プラのSSサイズSSサイズや、不燃のSSサイズも町民からの要望があります。ぜひ検討ください。

一般質問・八尾春雄議員

一、戦没者追悼式とかぐや姫まつりについて

11月24日の戦没者追悼式に参加し不戦の誓いを新たにしたい。今後は応召により戦死した方だけでなく空襲や栄養失調など戦争に起因するすべての犠牲者を対象にしたものにしてほしい。また戦後63年間わが国が戦争をしないでこれたのは戦争放棄と交戦権の否定を定めた日本国憲法第九条の存在が大きい。かぐや姫まつりで自衛隊が保護者に子どもの氏名と住所を書かせていたのは祭の趣旨に合わないので中止すること。

(答弁 町長) 二度と戦争の惨禍を繰り返すことのないよう恒久の平和を確立することが我々に課せられた責務であり、このこと

それが犠牲となられた方々への償いであることとを式辞で申し上げた。犠牲者の中には広義の意味で戦争犠牲者を含んでおり、またアジア諸国民に多大の損害と苦痛を与えたことに反省しお詫びの気持ち(村山談話)に同じ気持ちだ。憲法を守ることは当然だ。自衛隊の広報活動は受け入れている。

二、地区計画制度実施に向けて

年度内の実施に向けて格別の努力をしてほしい。制度確定前の駆け込みで町が準備している内容に違反する営業宣伝活動が懸念される。

(答弁 町長) 現在5地区で準備を進めている。馬見南3丁目計画案の縦覧(12月18日まで)に入り馬見北5丁目は来年1月に住民説明会を実施する。駆け込みの動きについては地区計画制定の状況や方向について十分説明し適切に対応する。

三、高田川河川敷公園事業を吉川元県議が県に要望していたことについて……はしお元氣村横の高田川に県の工事として河川敷公園が整備されている。今般、吉川隆志元県議が現職時代に県に要望していたことが河川課文書で明らかになった。同工事は1億円を超える事業で内4599万円は同氏のご長男が社長を務める大斗興産(株)が受注している。町長はどのように対応したのか。政治倫理上の問題はないのか。

(答弁 町長) この公園事業は、河川改修後寺戸大橋付近の河川敷が広くなったために地元から公園整備の要望あるいは水質ワーストワンの大和川の浄化のための事業として県へ要望を行い整備されたものだ。町の工事ではない。管理については県との協定を結んでおり、公園施設の維持管理は町が、清掃等は寺戸区と南区が行う。

議員家族が経営する企業がその自治体の仕事を請け負うのは政治倫理上問題がある

ムダをなくし、くらしを守る力を大きく

国の悪政と対決、スジとおす日本共産党を伸ばしてください

後期高齢者医療制度、そのうえ自民と公明が合意して2011年度には消費税増税。民主まで「消費税の重要性が高まることは不可避」と…。こうした国の悪政とたたかい、税金のムダづかいをなくしてこそ、くらしを守れます。この立場で、日本共産党はがんばります。今年も、みなさんのご支援をお願いいたします。